

熊本学園大学付属社会福祉研究所社会福祉叢書 11

老い衰えゆく自己の／と自由

—高齢者ケアの社会学的実践論・当事者論—

天田城介 著

2004年3月25日発行

目次

序 老い衰えゆく当事者の〈語り得ぬもの〉を「語る」ということ

第1章 高齢者ケアの現在性

—小規模多機能サービス拠点論で拾象・忘却される〈現実〉—

第2章 〈老い衰えゆくこと〉の語り難さ・語り得なさ

—〈老い衰えゆくこと〉と〈ケア〉の根源的暴力性—

第3章 老い衰えゆく当事者のアイデンティティの保ち方

—施設介護・家族介護・高齢夫婦介護の困難—

第4章 高齢者ケアの社会学的実践論・当事者論

—自己で在る／他者で在ることの可能性—

第5章 老い衰えゆく自己の／と自由 —《他者》との邂逅—

おわりに

文献

索引